

研究課題名	AI 構造化プログラムによる多発性骨髄腫患者における電子カルテ記述情報からの構造化データ再現の後方視的研究
研究の意義・目的	<p>本研究は多機関共同研究で、大阪公立大学が中心となって行う研究です。現在、様々なデータベースへのデータ入力には各施設の医師が患者様の診療記録を参照しながら手作業でデータ入力している現状です。また入力項目の中でも、診断名や重症度、治療内容やその治療効果判定などの項目は主治医のカルテ記事にのみ情報が存在していることが多く、データ入力には過去のカルテ記事から必要な情報を探索し、総合的に医学的解釈・判断をする必要があり、人手や時間がかかる、転記ミスによるデータ精度の低下等が問題となっています。</p> <p>そこで我々は医療法人 LIGARE 血液内科太田クリニック・心斎橋に通院される多発性骨髄腫の患者様の、臨床業務において記載された主治医の自由記載による診療録および医療法人 LIGARE 血液内科太田クリニック・心斎橋および大阪公立大学に通院される多発性骨髄腫の患者様の臨床情報に対し、自然言語解析という機械学習の手法を用いて、データベースへのデータ入力支援を目的とした機械学習モデルを構築し、データベースへの入力支援を行うツールを開発すると共に、その精度検証を行います。</p>
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可日 ~ 2027 年 3 月まで
研究協力をお願いしたい方(対象者)	医療法人 LIGARE 血液内科太田クリニック・心斎橋および大阪公立大学医学部附属病院において、2007 年 1 月から 2026 年 3 月の間に、多発性骨髄腫に対する診療行為を受けた患者様。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療録から、以下の情報を本研究に使用させてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師の自由記載による診療録 ・診断名、診断日 ・既往歴、合併症 ・患者 PS、KPS ・病期(ISS/R-ISS/DS) ・検査項目(血清 M 蛋白、尿中 BJP、白血球、形質細胞数、ヘモグロビン、血小板数、BNP、クレアチニン、CRP、LDH、Ca、総蛋白、アルブミン、IgG、IgA、IgM、IgD、IgE、ガンマグロブリン、免疫電気泳動、 2MG、遊離軽鎖、尿蛋白、骨髄検査、染色体遺伝子検査、画像検査)およびその経過 ・原疾患の経過 ・治療内容およびその経過(移植を含めた化学療法および放射線治療) ・経過中の合併症の有無、その内容 ・治療効果 ・転帰(生存、死亡等) <p>など。</p>
試料・情報の他機関への提供	医療法人 LIGARE 血液内科太田クリニック・心斎橋から情報提供を受けて研究を実施します。また、本研究は AICRO 株式会社との産学共同研究です。 特定の個人を識別できない形 で、共同研究施設である大阪公立大学、医療法人 LIGARE 血液内科太田クリニック・心斎橋、AICRO 株式会社と研究用データを共有します。
この研究を行っている共同	大阪公立大学大学院医学研究科血液腫瘍制御学/臨床検査・医療情報医学 研究責任者 岡村 浩史 医療法人 LIGARE 血液内科太田クリニック・心斎橋 太田 健介

研究機関	AICRO 株式会社 山口 太一
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科血液腫瘍制御学/臨床検査・医療情報医学 研究責任者 岡村 浩史
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究は AICRO 株式会社より研究費の提供および解析等の労務の提供、また LIGARE 血液内科太田クリニック・心斎橋より研究費の提供および情報の収集、提供、解析等の労務の提供を受けて実施します。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学/臨床検査・医療情報医学 岡村 浩史 電話番号：(06) 6645-3881 FAX：(06) 6645-3880 医療法人 LIGARE 血液内科太田クリニック・心斎橋 太田 健介 電話：06-6245-2117